



ジェンダー社会科学研究センター

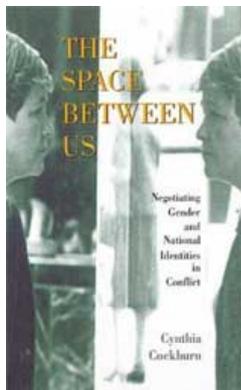
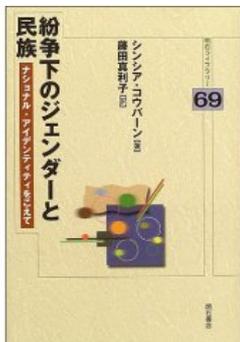
Center for Gender Research and Social Sciences
Hitotsubashi University, Graduate School of Social Sciences

CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

第8回 講師:シンシア・コウバーン教授

Cynthia Cockburn Ph.D. (英国:ロンドン市立大学教授)

「戦争とジェンダー - フェミニストによる根源的問い直し -」



パレスチナ、旧ユーゴ、北アイルランド、シエラレオネ、コロンビア、インド…。紛争地域で活動する女性平和活動へのアクション・リサーチで著名なコウバーン教授をお招きします。戦争と軍事化が当該社会のジェンダー関係に大きな影響を与えることが、フェミニズム的な実践と研究によって明らかにされてきました。これらの議論を発展させ、コウバーン教授は家父長制が戦争を引き起こす「根源(root cause)」ではないかと問題提起されています。家父長制が、ナショナリズム(ex. 国境線を巡る争い)や資本主義(ex. 石油の争奪戦)のように戦争の直接的な引き金とはならなくとも、戦争を「事前準備する(pre-dispose)」ような文化をうみだすことにより、軍事化のプロセスにおいて大きな役割を果たすことを、自らの調査に基づき講演くださいます。講演には通訳がつきます。予約は不要です。

司会:前田真理子さん(一橋大学法学研究科 准教授)

日時:7月17日(金曜日) 16:30~18:30

場所:一橋大学 マーキュリータワー(東キャンパス奥) 7階会議室

*この企画は、東北大学グローバルCOE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」、連携拠点(東京大学社会科学研究所)、一橋大学平和と和解の研究センター(CsPR)との共催です。

連絡先:ジェンダー社会科学研究センター cgrass@soc.hit-u.ac.jp